

**みんなで作る
健やかなまち**

① 児童福祉の充実

できっずカードの発行 758万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

妊婦や中学生以下の子どもがいる世帯を経済的に支援するため、子育て世帯専用のポイントカード「できっずカード」を1世帯につき5枚交付しています。このカードは満点になると5000円分の金券として買い物や預金に利用することができ、4500円分を町が負担しています。

平成25年度は、対象514世帯のうち438世帯（交付率85.2%）に計2190枚のできっずカードを交付しました。

満点カードの使用枚数は1575枚（71.9%）で、そのうちの779枚（49.5%）が町内での買い物に使用されました。



子ども・子育て支援事業計画の調査 133万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、子育て世帯にニーズ調査を実施し、調査の集計および分析を行いました。

【対象世帯】 391世帯

【回答世帯】 201世帯

【有効回答率】 51.41%

<財源内訳>

道の補助金 133万円



子育て支援センターの運営 274万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

子育て支援センターでは、保育士資格を持つ2人の子育て指導員が、子育て中の保護者の皆さんのサポートや育児サークル活動相談事業などを行っています。

【平成25年度利用者数】

一般利用	3894人
育児サークル活動	776人
年齢別活動	1012人
子育てスクール	783人
合計	6465人

<財源内訳>

道の補助金 136万円
町の負担 138万円



児童館の運営 832万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

児童館では、5人の児童厚生員が放課後や休日などに、子どもたちが安心して遊べるよう、さまざまな行事を行っており、延べ1万7751人の児童が遊びにきました。

また、児童の遊びを通じての指導や保護者からの子育て相談に対応するため、子育て支援アドバイザー1人を配置しました。

<財源内訳>

道の補助金 95万円
行事の参加負担金 1万円
町の負担 736万円



② 障がい者福祉の充実

地域生活支援事業

498万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

在宅の障がい者および障がい児が、住み慣れた地域で安心して生活するために、外出時の移動の支援や通所施設での日中の見守り支援、紙おむつなどの日常生活に必要な用具の給付を行いました。

<財源内訳>

国の補助金	206万円
道の補助金	119万円
町の負担	173万円

地域活動支援センター負担金 698万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

地域活動支援センターの指定を受けている、ゆめりあ内の「あざれあ工房」と砂川市にある「ぼぼろ」に対し、運営費の一部を助成しました。

地域活動支援センターは、心身に障がいのある方が通所する福祉施設で、「あざれあ工房」では、手芸品の作成や菓子箱の組み立てなどを行いました。

また、砂川市の「ぼぼろ」では、話し合いの場や料理・軽スポーツなどの活動の場を提供しました。

障害者自立支援事業

2億389万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

国の法律に基づく福祉サービスを行いました。障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、障がいの内容や特性に合わせ、個々のニーズに応じた適正なサービスを提供しました。

【主なサービスの内容】

- 在宅で訪問を受け利用するサービス
入浴、排せつ、食事の介護および調理、洗濯などの家事援助を行いました。
- 施設などで昼間の活動を支援するサービス
施設での入浴、排せつ、食事の介護および個々の能力に応じた就労支援を行いました。
- 住まいの場を提供するサービス
さまざまな障がいのある方が共同生活を送ることができるよう、日常生活に必要な支援を行いました。
- 障がい者福祉サービス利用計画の作成
障がいのある方の心身の状況に応じたサービス利用計画を作成し、個々に合ったサービス利用の支援を行いました。

<財源内訳>

国の負担金	9918万円
道の負担金	4975万円
町の負担	5496万円



③ 高齢者福祉の充実

要援護者の台帳整備と情報管理 32万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

災害時に支援が必要な高齢者や障がいのある方の疾病状況や必要な介護の内容、緊急時連絡先や近隣の支援者などの情報を管理し、必要時に情報が活用できるように体制を整えました。

また、台帳登録者に対して、緊急時や災害時に活用できる救急医療情報キットを配布しました。



※緊急時に必要な情報をこの容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管し、万が一の緊急時に備えます。

緊急通報システムの設置 13万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

ボタンを押すと消防署につながる、緊急通報システムの設置に係る費用を負担しました。高齢者や障がいのある方の不安の軽減を図るとともに、緊急時の迅速な対応を行いました。

平成25年度には85世帯の利用があり、消防署への通報は4件、その全てに救急隊が出動しました。

<財源内訳>

雨竜町の負担金 4万円

(緊急通報システムの回線を雨竜町と共有しているため)

町の負担 9万円

高齢者や障がい者の見守り 274万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

高齢化率の高いみどり区、花月区をモデル地区に設定し、一人暮らし高齢者や障がいのある方のうち希望があった方に、見守り支援員を選任しました。

週1回程度の定期的な訪問活動を通し、安心した地域生活を送ることができるように体制を整えました。

灯油購入費の助成 138万円

(担当：保健福祉課介護・福祉グループ)

冬期間の暖房に欠かすことのできない灯油の価格が高騰したため、一定の要件を満たした高齢者世帯や障がいのある方の世帯、ひとり親世帯など131世帯に対し、1世帯当たり100リットル分の福祉灯油券を発行しました。

<財源内訳>

国の補助金 50万円

町の負担 88万円

ふるさと学園大学の運営 46万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

高齢者を対象に、学習意欲の向上、健康や体力の維持・増進などを目的とした講義を年間8回開催しました。

207人の学生が入学し、充実した生きがいのある生活を目指すため、身近な話題をテーマとした講義を受講しました。

207人のうち37人の学生が皆勤者となりました。



60代からの生きがいづくり 9万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

60歳以上の方の新たな生きがいづくりを目的としてシニアいきいきクラブを開催しました。

平成25年度は、せん定・冬囲い、太極拳、お菓子作り、家庭菜園の4つの教室で、参加申込54人、延べ123人が参加しました。

太極拳教室では、参加者の多くがそのまま太極拳同好会に入会し、活動を継続しています。

<財源内訳>

参加者負担金	1万円
町の負担	8万円



高齢者宅等の除雪 266万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

高齢者や障がい者世帯の冬期間の除雪の不安を解消し、在宅生活を確保するため、11月から3月までの期間、除雪サービスを実施しました。

除雪の範囲は、玄関から道路までの人が通れる程度とベランダおよび窓（家の中で1カ所）で、40人がこの事業を利用しました。

<財源内訳>

国の交付金	91万円
利用者の負担金	33万円
町の負担	142万円



レクリエーション・インストラクターの養成 14万円

(担当：保健福祉課子ども・高齢者グループ)

札幌で行われたレクリエーション・インストラクター養成講習会に2人が参加し、それに係る交通費や受講料などを負担しました。

また、インストラクターの活躍の場として、単位老人クラブの定例会で15回、ふるさと学園大学で1回、老人クラブ交流会で1回、計17回レクリエーションを実践しました。



④ 健康づくりの推進

町民健康づくり対策 230万円

(担当：保健福祉課健康推進グループ)

町の健康増進計画である「健康プラン新十津川(第2期平成25年度～34年度)」がスタートしました。

初年度の健康づくり対策事業として、次の事業を行いました。

- 健康のぼりを作成掲示し、健康づくりに常に關心を持ち、健康増進に取り組めるように情報提供を行いました。
- 「食生活知っ得情報(料理レシピ)」のチラシを町内全戸に配布し、食生活の改善のため、栄養や食生活改善に必要な情報を提供しました。
- ウォーキング作戦を実施し、体を動かす習慣を身に付けるため手軽にできるウォーキングを推進しました。



<財源内訳>

保険者の補助金	29万円
町の負担	201万円

がん検診 642万円

(担当：保健福祉課健康推進グループ)

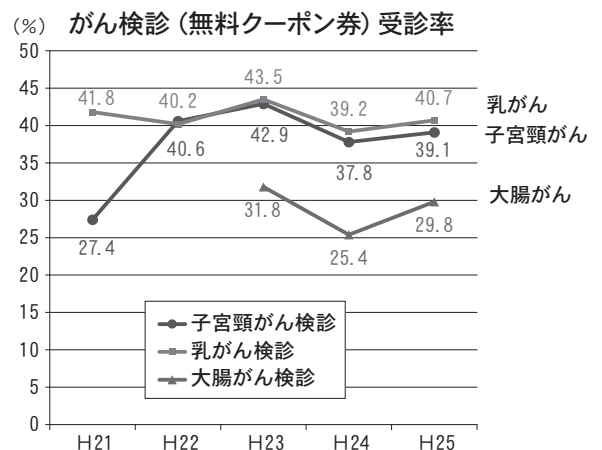
がんの早期発見・早期治療のために、胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、子宮頸がん、乳がん検診を行いました。

節目年齢の女性の方に子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券の配布や平成23年度から追加された節目年齢の方への大腸がん検診無料クーポン券の配布を行いました。

また、町独自の取り組みとして、30歳代の女性を対象に乳がん検診を行いました。

<財源内訳>

国の補助金	70万円
保険者の補助金	20万円
受診者自己負担	185万円
町の負担	367万円



⑤ 医療環境の充実

国民健康保険

3億3843万円

(担当：住民課戸籍保険グループ)

保険運営を行う広域連合への負担金、保険税の収納に係る経費や保険税審議会の開催経費など、保険事業を安定的に運営するための経費を支出しました。

平成25年度から、40歳～74歳の加入者を対象とした特定健診の個人負担を無料化し、病気の早期発見・早期治療による医療費削減に努めています。

<財源内訳>

国の補助金	1720万円
道の補助金	2270万円
加入者の保険税	2億4575万円
町の負担	5278万円

【被保険者数および1人当たり医療費の推移】

	H23	H24	H25
平均被保険者数	2198人	2127人	2010人
前年度対比	—	△3.2%	△5.5%
1人当たり医療費	40万6105円	41万1130円	40万9698円
前年度対比	—	1.24%	△0.35%

後期高齢者医療保険

9676万円

(担当：住民課戸籍保険グループ)

後期高齢者医療制度を運用する上で必要となる、保険証の作成や保険料の決定などの運営を行う広域連合への負担金や、町が行う保険証の交付、各種療養費の受付、保険料を収納して広域連合へ納付するための経費を支出しました。

<財源内訳>

加入者の保険料	6843万円
道広域連合の交付金	2万円
加入者からの手数料など	15万円
過年度保険料の還付金	1万円
町の負担	2815万円

【1人当たり医療費の推移】

区分	H22		H23		H24		H25	
	金額	順位	金額	順位	金額	順位	金額	順位
新十津川町	97万1923円	85位	91万4098円	125位	91万2669円	131位	90万9181円	136位
北海道	107万442円		108万7294円		108万1083円		109万1704円	

※平成25年度は数値が確定していないため、暫定的な数値となっています。

※表中の「順位」は、北海道の177（東川町、東神楽町、美瑛町は3町で共同運営）市町村の順位です。

1人当たり医療費が高いほど、順位が高くなります。

中学生までの医療費無料化

2144万円

(担当：住民課戸籍保険グループ)

子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもの健康管理を支援するため、0歳から中学生までのお子さんが病院で診察を受けたときの保険医療費の全額を助成しました。

【平成25年度の助成実績】

	全体		未就学児		小学生		中学生	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
入院	85件	366万4324円	46件	184万9222円	29件	93万4301円	10件	88万801円
通院	5406件	1021万3053円	2644件	440万2406円	2013件	405万4271円	749件	175万6376円
歯科	1002件	228万4326円	286件	55万6367円	593件	137万6193円	123件	35万1766円
調剤	3656件	448万3054円	1945件	190万6260円	1337件	207万8988円	374件	49万7806円
合計	1万149件	2064万4757円	4921件	871万4255円	3972件	844万3753円	1256件	348万6749円

■は町独自助成

新十津川町健康増進計画
健康プラン新十津川
第2期(平成25年度から平成27年度)

平成25年度 → 平成26年度 → 平成27年度

健康づくり実践目標

- 病気の予防
- 栄養・食生活
- 歯・口腔の健康
- 身体活動・運動
- たばこ
- 環境
- 休養
- こころの健康

「健康づくり宣言」

新十津川町 保健福祉課 健康推進グループ(ゆめりあ内)
TEL.0125-72-2000 FAX.0125-72-2006

健康料理レシピ
YOMACE

地産地消の食材・トマト

リコピンパワーで夏を乗り切ろう!

リコピンは、トマトやナス、パプリカなどに含まれる赤色の色素の成分です。血管を丈夫に保ち、免疫力を高める効果が期待されています。リコピンは季節の変わり目、暑熱の夏場、夏バテなどで多くの人に不足しがちです。また、抗酸化作用も期待でき、コレステロール値を下げ、血圧を下げることが期待されています。リコピンは、加工食品と新鮮なトマトを合わせて摂取すると、リコピンの効果もアップします。

真っ赤なトマトのキッシュ風

<材料 / 20cmフライパン1台 / 4人分>

- ①卵 2個
- ②バター 10g
- ③小麦粉 50g
- ④牛乳 100cc
- ⑤塩 少々
- ⑥トマト 1個
- ⑦オリーブオイル 少々
- ⑧チーズ 50g

<作り方>

- ①卵を室温に戻し、よく混ぜる。
- ②バターを溶かし、③小麦粉を加えて混ぜる。
- ④牛乳を加えて混ぜる。
- ⑤塩を加えて混ぜる。
- ⑥トマトを薄切りにし、⑦オリーブオイルを塗る。
- ⑧チーズをのせて、①の生地を流し入れる。

【1人当たりの栄養価】エネルギー 244kcal、たんぱく質 12.0g、脂質 12.0g、炭水化物 12.0g、塩分 1.0g

事業名	決算額	実施概要
児童福祉の充実		
誕生記念品の贈呈	16万円	誕生した35人のお子さんにベビー服を贈りました
児童手当の支給	8906万円	中学生以下の子どもを養育している方に手当を支給しました
安心の子育て環境づくり	23万円	子育て支援講演会と17回の子育てスクールを開催しました
新十津川保育園の運営	5939万円	指定管理者（華園学園）に委託して保育園を運営しました
保育所広域入所負担金	44万円	町外の保育園へ通った乳幼児の負担金です
子ども夢基金の利子積立	31万円	子ども夢基金の利子を積み立てました
障がい者福祉の充実		
補装具費の支給	89万円	身体に障がいのある方に補装具を給付しました
自立支援医療費の給付	1920万円	人工透析などに係る医療費を助成しました
重度心身障害者等介護手当の支給	54万円	重度障がい者の介護者に手当を支給しました
施設通所交通費の助成	74万円	施設通所の交通費を助成しました
特別児童扶養手当支給事務	4万円	障がい児の保護者に手当を支給しました
身障福祉協会の支援	4万円	身障福祉協会の活動に補助金を支出しました
高齢者福祉の充実		
高齢者の福祉施設入所経費	580万円	行政の措置による施設入所者に係る経費を負担しました
介護保険の運営	1億652万円	介護保険の運営経費を空知中部広域連合に負担しました
高齢者の介護予防	481万円	要介護状態への移行を予防するデイサービスを行いました
在宅要援護者の通院支援	5万円	バス利用が困難な高齢者にタクシー代の一部を助成しました
ゆめりあ部会の運営	4万円	部会活動の成果を披露する発表会や体験教室を行いました
福祉バスの運営	129万円	高齢者無料バスの運行や車両の管理を行いました
長寿を祝う会負担金	115万円	「長寿を祝う会」の開催を支援しました
単位老人クラブの支援	95万円	町内の各老人クラブに活動資金の一部を助成しました
老人クラブ連合会の支援	54万円	町の老人クラブ連合会に活動資金の一部を助成しました
高齢者の元気づくり支援	176万円	心身機能の維持向上のための運動教室や講話を行いました

事業名	決算額	実施概要
健康づくりの推進		
総合健康福祉センターの管理	3849万円	ゆめりあの管理運営を行いました
乳幼児学童法定予防接種	297万円	子どもに必要な法定予防接種を延べ359人に行いました
インフルエンザ予防接種	178万円	対象者に1人1回につき1000円、延べ1730人に助成しました
ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン予防接種	310万円	ヒブ・小児用肺炎球菌予防接種を延べ326人に行いました
子宮頸がんワクチン予防接種	46万円	子宮頸がんワクチン予防接種を延べ29人に行いました
高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種	81万円	対象者に1人1回につき3500円の助成を23人に行いました
保健事務	53万円	保健事業に関する事務を行いました
基本健康診査事業	54万円	30歳代を対象とした健康診断を68人に行いました
基本健康診査2次健診事業	5万円	糖負荷検査や頸部エコーなどの詳細検査を行いました
肝炎検診	19万円	肝炎ウイルス検診を79人に行いました
骨粗しょう症検診	20万円	骨密度検査を128人に行いました
エキノコックス症検診	26万円	エキノコックス症検診を286人に行いました
健康教育・相談	8万円	健康教育や健康相談を行いました
栄養指導	114万円	栄養相談や食生活改善支援を行いました
健康体力増進室の管理運営	254万円	健康体力増進室の管理運営を行いました
乳幼児健康診査・相談	46万円	乳幼児の健康診査、健康相談を行いました
乳幼児歯科健診・教育	15万円	歯科健診、歯科指導、フッ素塗布を行いました
妊婦健康診査・相談	283万円	母子手帳の交付や妊婦健診助成を延べ620人に行いました
後期高齢者健康診査	55万円	後期高齢者の健康診査を110人行いました
特定不妊治療費の助成	20万円	特定不妊治療費の一部を延べ2人に助成しました
医療環境の充実		
救急医療の確保	98万円	休日や夜間などに救急患者が受診できる体制を確保しました
後期高齢者医療療養給付費負担金	9488万円	後期高齢者医療保険加入者の医療費の一部を負担しました
診療送迎車運行支援事業	140万円	診療送迎車運行に係る費用を支援しました
重度心身障害者の医療費助成	1892万円	重度の障がいのある方の医療費を助成しました
ひとり親家庭の医療費助成	376万円	母子家庭、父子家庭などの医療費を助成しました
未熟児養育医療費の助成	31万円	入院を必要とする未熟児の医療費を助成しました
24時間の訪問看護の確保	79万円	総合在宅ケア事業団の運営費を負担しました